

「授業リフレクションのための学生による授業参観」制度実施報告

「授業リフレクションのための学生による授業参観」を2025年度も実施しました。本制度は、授業および教育方法の改善に資することを目的として、受講者ではない第三者の立場の学生が授業を参観し、気づいた点を教員へフィードバックするものです。参観学生は、事前に研修を受講したうえで担当教員と打ち合わせを行い、参観のポイントを確認してから授業参観に臨みます。参観後は、授業構成や教員の話し方、板書、配付資料等について、学生と教員で授業改善に向けた建設的な意見交換を行っています。

実施概要

【実施期間】

春学期：2025年 6月23日(月)～2025年 7月23日(水)
秋学期：2025年11月24日(月)～2025年12月22日(月)

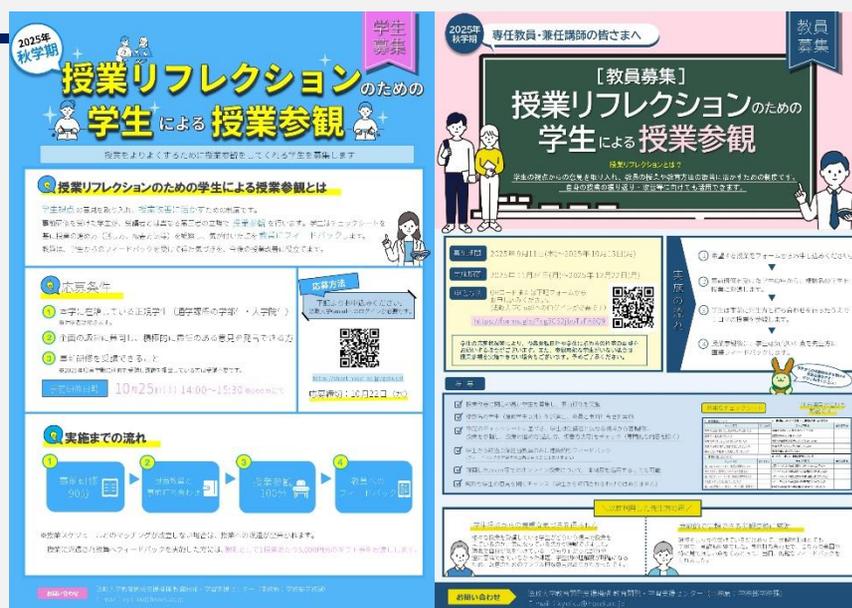
【実施の流れ】

- ①参観希望学生向け事前研修
- ②実施授業と参観学生のマッチング
- ③担当教員と参観学生による事前打ち合わせ
(参観するポイントの確認等)
- ④授業参観実施
- ⑤学生から教員へのフィードバック
(気づいた点等の共有)

【実施状況】

<参観実施授業数：16件／参観学生数：47名>

2025年度は春学期・秋学期あわせて15の授業にて本制度の利用があり、授業の主催学部は多岐にわたりました。また、大学教員を目指す大学院生の教育能力向上を目的とした「ブレFD」の一環として、博士後期課程の大学院生が担当したLステゼミでの授業参観も1件実施されました。



2025年度秋学期の案内(左:学生向け、右:教員向け)

利用教員のアンケートより



- ◆ 学生から非常に建設的な助言をもらった。自分の講義の弱点や留意すべき改善点が非常に明確になったので、次回以降の講義で積極的に活用したいと考えている。
- ◆ 2021年度秋学期からずっと利用させていただいており、毎回、とても有意義な時間となっています。今回も、研修をしっかりとられただけあって、3人ともとても丁寧で、意欲も旺盛でした。事前打ち合わせで、こちらの意図や特に見てほしい点をくみとって、当日、的確なフィードバックをくれました。また、理工学部の講義を文系学部の皆さんにも見ていただいたことで、より分かりやすい表現や説明方法を工夫することもできました。今後の講義の改善点についてのヒントもいただけて、たいへん満足しております。
- ◆ 今年度が初めての授業でしたので、学生がどのような視点で授業を聞いているのかを掴むことができとても有意義でした。また、日頃授業で改善が必要と感じていた点やこれまでの授業内で改善した点についても確認することができ、方向性に間違いがないことを再認識できた。それから、想定していなかった視点からの指摘もあり、改善につなげることができ、全体としても有意義な時間でした。
- ◆ 授業参観学生にとっても、講師にとっても、そして受講生にとっても、非常に良い刺激になります。
- ◆ 学生から受けた指摘が的確で、自分自身も課題として捉えていたところも、意外なところも、両方あった。教員歴が長くなるにつれて惰性的になってしまっている部分があったと省みる機会になった。
- ◆ 履修生だとどうしても気を遣われてしまうので、有意義な意見交換ができました。また、立場上、授業内容から離れて観察してくれるのも良かったと思います。
- ◆ 初めて担当する授業だったので利用したが、学生目線での具体的なフィードバックがもらえて非常に良かった。来てくれた学生3人ともきちんとした(書いただけではなくて、口頭でも)フィードバックを具体的にしてくれて、すぐに次の週から参考にできた。